

科目名	スノーボード実習B							年度	2025
英語科目名	Snowboard B							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 2年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	志鷹慎吾	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スノーボードインストラクター		
【科目の目的】 各個人の技量にあった技術レベルで、自ら危険を判断して回避できる能力を身につけます。冬山におけるマナーなど実際に体験をし、雪質を含む斜面状況や気象変化、他のスキーヤー、スノーボーダーの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中でスノースポーツを安全に楽しむことを学びます。各自バッジテスト1～5級の取得をめざします。									
【科目の概要】 レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。									
【到達目標】 A スノーボードを安全に行う方法を身につける B 各自のレベルに応じた基本技能を身につけバッジテスト合格を目指す C 団体で行動する能力を身につける									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。スノーボード滑走中は必ずヘルメット、ゴーグル等を着用。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。 ※スノーボード実習Aを取得した学生は、更に上級のバッジテスト取得を目指して行きます。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スノーボードを安全に 楽しく行うことができ る		スノーボードを安全に 行うことができる		スノーボードを行うこ とができる				
到達目標 B	自分が把握するレベル 以上のバッジテストに 合格		自分のレベルに応じた バッジテストに合格		問題なく合格できるレ ベルのバッジテストに 合格				
到達目標 C	団体でも積極性を持っ て行動することができる		団体でも責任感をもっ て行動することができる		団体でも行動する事が できる				
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

